

安全データシート

作成日 2001年 12月 20日

改訂日 2024年 4月 1日

1. 化学品及び会社情報

| | |
|------------------|--|
| 製品名 | 工作用ボンド |
| 品番 | NS-030 / NS-030S |
| コード | 28-019 / 28-032 |
| 会社名 | プラス株式会社 |
| 住所 | 〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28虎ノ門タワーズオフィス12F |
| 担当部門 | CSR本部 品質保証部 |
| 緊急連絡電話番号 | 03-5860-8005 |
| FAX番号 | 03-5860-8013 |
| E-mail | env_psc@plus.co.jp |
| 整理番号 | G06D0110 |
| 推奨用途及び 使用上の制限 | 木工用接着剤 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

| | |
|---------|------------|
| 引火性液体 | : 区分に該当しない |
| 自然発火性液体 | : 分類できない |
| 酸化性液体 | : 区分に該当しない |

健康に対する有害性

| | |
|-----------------|----------|
| 急性毒性（経口） | : 分類できない |
| 急性毒性（経皮） | : 分類できない |
| 急性毒性（吸入：ガス） | : 分類できない |
| 急性毒性（吸入：蒸気） | : 分類できない |
| 急性毒性（吸入：粉じん） | : 分類できない |
| 急性毒性（吸入：ミスト） | : 分類できない |
| 皮膚腐食性・刺激性 | : 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | : 分類できない |
| 呼吸器感作性 | : 分類できない |
| 皮膚感作性 | : 分類できない |
| 生殖細胞変異原性 | : 分類できない |
| 発がん性 | : 分類できない |
| 生殖毒性 | : 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | : 分類できない |
| 特定標的臓器毒性（反復ばく露） | : 分類できない |
| 誤えん有害性 | : 分類できない |

環境に対する有害性

| | |
|----------------|----------|
| 水生環境有害性 短期（急性） | : 分類できない |
|----------------|----------|

水生環境有害性 長期（慢性） : 分類できない

※記載のない項目は「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル

なし

注意喚起語

なし

危険有害性情報

なし

注意書き

なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

一般名 : 水性エマルジョン

成分及び含有量

| 成分 | CAS No. | 含有量 (wt%) | 官報公示整理番号 | PRTR 法 |
|----------|-----------|-----------|----------|--------|
| 酢酸ビニル重合体 | 9003-20-7 | 53-57 | 6-295 | — |
| 水 | 7732-18-5 | 43-47 | — | — |

4. 応急措置

吸入した場合 : 蒸気、ガス等を吸入して気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動させて、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。

眼に入った場合 : 清浄な水で最低 15 分間洗浄した後、直ちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗い、直ちに医師の手当てを受ける。

急性症状及び遅発性症状の : データなし

最も重要な兆候症状

応急措置をする者の措置に : データなし

必要な注意事項

医師に対する特別な注意事項 : データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水、強化液、泡消火剤、粉末消火剤、ハロゲン化物消火剤

使ってはならない消火剤 : データなし

特有の消火方法 : このもの自体には可燃性は無いが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。
燃焼の際は、火元への燃焼元を断ち、消火剤を使用して消火する。
延焼のおそれがないよう水スプレーで周囲を冷却する。
消火作業は風上から行う。

消火を行う者の特別な保護 : 消火作業の際は、適切な保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

保護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

| | |
|---------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置 | : 作業の際には保護靴、保護手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。 |
| 環境に対する注意事項 | : 流路を毛布・土壌等を用いてせき止め、河川、湖沼への流出を防止する。 河川、湖沼へ流出した場合は、必要に応じ、警察署・消防署・都道府県市町村の 郊外関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。 |
| 封じ込め及び浄化方法・機材 | : 多量流出の場合は、バキューム等で汲み上げ、少量流出の場合は、おが屑、土砂、 パーライト等を混ぜモルタル状として凝固回収する。 |
| 二次災害の防止策 | : 漏出した場所の周辺には、ロープを張るなどの措置を行い、作業員以外の立ち入りを 禁止する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|----------|---|
| 技術的対策 | : 適切な保護具（「8. 暴露防止及び保護措置」項を参照）を着用する。 |
| 安全取扱注意事項 | : 取扱いは換気の良い場所で行う。 残液や洗浄に使用した水は下水には流さないようにし、「13. 廃棄上の注意」項を 参照して適切に処理する。 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。 |

保管

| | |
|-----------|---|
| 技術的対策 | : 皮張り防止の為、容器を密閉して保管する。 |
| 混触危険物質 | : なし |
| 適切な保管条件 | : 凍結、直射日光を避け、5°Cから 35°Cの屋内で保管すること。 換気の良い湯所で保管すること。 |
| 安全な容器包装材料 | : 水含有製品の為、ポリ容器、内面ポリマーコーティングされた容器等。 |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|------|---|
| 管理濃度 | : 設定されていない |
| 許容濃度 | : - |
| 設備対策 | : 屋内で取り扱う場合は、局所排気装置又は全体換気装置を設置する方が 好ましい。 スプレー等の使用で飛散する可能性がある場合はその対策を取る。 |

保護具

| | |
|------------|--|
| 呼吸器の保護具 | : 簡易マスク |
| 手の保護具 | : 保護手袋（ビニール製・ゴム製） |
| 眼、顔面の保護具 | : 保護眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 長袖、長ズボンの作業服、保護帽、保護靴 |
| 衛生対策 | : 保護具は保管場所を定めて保管し、清潔なものを使用する。 取扱い場所の近くに手洗い、洗顔、うがい等の設備を設け、その位置を 明示する。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---------------------|--------------------------------|
| 物理的状态 | : 液体 |
| 色 | : 乳白色 |
| 臭い | : わずかな特異臭 |
| 融点/凝固点 | : 約0°C |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | : 約100°C |
| 可燃性 | : データなし |
| 爆発下限界及び上限界、 可燃限界 | : データなし |
| 引火点 | : なし |
| 自然発火点 | : なし |
| 分解温度 | : データなし |
| pH | : 3-6 (水で50%希釈) |
| 動粘性率 | : データなし |
| 溶解度 | : 水に無限大に希釈可能 |
| n-オクタノール、 水分配係数 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 密度及び/又は相対密度 | : 約1.1g/cm ³ (23°C) |
| 相対ガス密度 (空気=1) | : データなし |
| 粒子特性 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|------------------------|
| 反応性 | : データなし |
| 化学的安定性 | : 一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。 |
| 危険有害反応可能性 | : データなし |
| 避けるべき条件 | : 凍結させないこと。 |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : データなし |

11. 有害性情報

| | |
|---------------------|---------|
| 急性毒性 (経口) | : データなし |
| 急性毒性 (経皮) | : データなし |
| 急性毒性 (吸入) | : データなし |
| 皮膚腐食性・刺激性 | : データなし |
| 眼に対する重篤な損傷・ 眼刺激性 | : データなし |
| 呼吸器感作性 | : データなし |
| 皮膚感作性 | : データなし |
| 生殖細胞変異原性 | : データなし |

| | |
|---------------------|---------|
| 発がん性 | : データなし |
| 生殖毒性 | : データなし |
| 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | : データなし |
| 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | : データなし |
| 誤えん有害性 | : データなし |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|------------------|
| 生態毒性 | : データなし |
| 残留性・分解性 | : データなし |
| 生体蓄積性 | : データなし |
| 土壤中の移動性 | : 水域へ移動する可能性がある。 |
| オゾン層への有害性 | : データなし |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | : 廃棄物処理を業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して適切に処理すること。 焼却する場合は、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン類対策特別措置法及び都道府県市町村条例等に適合する焼却設備を用いて行う。 |
| 汚染容器及び包装 | : 廃棄物処理を業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して適切に処理すること。 焼却する場合は、大気汚染防止法、廃掃法、ダイオキシン類対策特別措置法及び都道府県市町村条例等に適合する焼却設備を用いて行う。 |

14. 輸送上の注意

国際規制

| | |
|---|---------|
| 国連分類・番号 | : 該当しない |
| MARPOL 73/78 | : 該当しない |
| 附属書II及びIBC コードによるばら積み 輸送される液体物質 (該当・非該当) | |

国内規制

| | |
|--------------|------------------------------------|
| 陸上輸送 | : 消防法・労働安全衛生法等に基づき積載、輸送を行う。 |
| 海上輸送 | : 船舶安全法・港則法等に基づき積載、輸送を行う。 |
| 航空輸送 | : 航空法等に基づき積載、輸送を行う。 |
| 輸送又は輸送手段に対する | : 運搬に際しては、容器の漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷が |

特別の安全対策 無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

消防法 : 非危険物
毒物及び劇物取締法 : 該当しない
労働安全衛生法 : 該当しない
化学物質管理促進法 : 該当しない
(PRTR法)

16. その他の情報

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

また、注意事項は通常の取扱を前提としたものなので、これらを参考にし、自らの責任において用途、用法に適した安全対策・適切な処置の実施をお願い致します。

※本書式は、JIS Z7253 : 2019 要求事項に準じて作成しております。